



ロータリーは機会の扉を開く
Rotary Opens Opportunities

RIテーマ

ロータリーは機会の扉を開く

Rotary Open Opportunities

クラブテーマ

原点から未来へ Get Back To the Future

会報

No. 1130

豊橋東ロータリークラブ

2020-2021

第15回例会

事務局：豊橋市花田町石塚 42 豊橋商工会議所内 TEL 0532-56-8566 FAX 0532-39-7520

会長：角谷 歩、副会長：西 崇秀、幹事：木所 壮太、出席・会報委員長：鈴木 康代

令和2年11月4日(水) 12:30~13:30

例会場：ホテルアークリッシュ豊橋 5F ザ・グレイスA 担当：R 財団・米山奨学

国歌「君が代」/ロータリーソング「奉仕の理想」/「四つのテスト」：中嶋 秀樹 さん

ゲスト 地区補助金委員会 副委員長 久具 信夫 氏 (豊川ロータリークラブ所属)

出席報告

会員総数	計算会員	出席免除者数	欠席	出席率	10月21日修正出席率	ビジター
51名	45名	6名	15名	66.67%	100%	0名

会長挨拶

角谷 歩 会長

全世界の注目を集める米大統領選挙は現在投票中で、各州で大接戦が続いているとの報ですが、今回は新型コロナ感染回避の為「郵便投票」等が7千万票に上り、その取扱いをめぐって、次期大統領の確定には相当時間がかかる模様です。一方、投開票まで残り3日となった豊橋市長選挙も激しさを増し帰趨は見通せません。選挙が終わればノーサイドが原則ですが、2016年のブレグジットから露わになってきた社会の分断傾向には歯止めがかかりません。私たちロータリークラブの活動は、このような分断に橋を架け、つながりを作り、痛みを癒すことができます。コロナの終息ということが望みにくい中ですが、事業の目的や規模の弾力的な変更・縮小等を通じて、出来ることを出来る範囲で取り組んでいきます。

本日のプログラム

『ロータリー財団プログラムについて』

～財団は、ロータリー会員の財産です～

地区補助金委員会 副委員長

久具 信夫 氏 (豊川ロータリークラブ所属)

2019-2020年の貴クラブ財団寄付実績は、1人当たり\$124、ポリオ\$26です。本日は、財団の使命・存在・寄付等について説明いたします。ロータリー財団は、1916-17年のRI会長アーチ・C・クランフ氏が1928年に創設しました。ロータリーの使命を達成するため国際ロータリーを支援する独立団体です。存在意義は、全世界で120万人のロータリアンの小さな力を大きな効果にするため、公共性の高い投資収益率(平均約4.5%/年)を使い、大きな成果を上げています。第三者の評価では、11年連続で4つ星を受賞(1%にもみえない)しています。総合評価・財務兼税制・責任説明等の透明性については100%の信頼があります。財団寄付については、①年次基金・②恒久基金・③ポリオプラス基金の3種類があり、①地区内のクラブからの年次基金(シェア)へのご寄付は、ロータリー年度末に、国際財団活動資金(WF)と地区財団活動資金(DDF)に分けられます。地



区は、寄付の3年後にこのDDFをクラブや地区、または財団のプロジェクトのために活用できます。DDFの半分までを地区補助金として使用でき、残りをグローバル補助金の申請、ポリオプラスやロータリー平和センターの支援、ほかの地区への寄贈のために使うことができます。②は、元金が支出されることなく、全額投資に回され、運用益を運営費や補助金に充てることが出来き、2017年度は3150万ドル、2018年度6月総額13億ドルあり、2025年までには20億ドルにある予定です。③は、ワクチン投与、症状分析、輸送等に使用することができ、ロータリーカードを作ると、利用率の0.3%が支援額にまわり、ポリオ根絶に協力できます。019-2020年度の財団の寄付目標は①\$150以上、②について1人以上、③については\$30以上を掲げ、2760地区の実績は、①1,344,667ドル1人当たり163ドル。②377,768ドル③37ドルでした。国別の寄付額は、アメリカ、インド、韓国、日本、台湾の順です。2019年ロータリー財団の収支報告は、支出3億3520万ドル。基本的なプログラムは、ロータリー年度で終結する。2019-2020年度は55件2150万円、②2020-2021年度は51件(+14件)2650万円予定です。地区補助金は、単会・共同、複数クラブでも申請可。グローバル補助金は、2か所以上のクラブ地区合同で、奨学生やフェローシッププログラムなど大規模な国際奉仕プロジェクトに使用可です。残りのポリオ根絶地区は、アフガニスタンとパキスタンの2国のみで、2019年より若干増加傾向です。警戒心を与えない女性のポリオワーカーが活躍中です。地区ロータリー財団委員会では世界ポリオデーに併せて、パキスタンの子供たちへ教育支援ユニット「ポリオ移動図書館」(ポリオワクチンの保冷庫も兼ね備え、「ワールドフード+ふれ愛フェスタ」の収益金で1号車から9号車まで寄贈済)を2台寄贈を目指し、地区内各クラブのロータリアン皆様方にご寄付をお願いしております。1口1,000円で1口ご寄付につき「END POLIO NOW」のロゴマークあしらった、マスクを1枚進呈しております。ご協力をお願いいたします。

原稿：坂牧 博美 さん / 写真：角園 清 さん